

総合計画／実施計画書
兼 事務事業評価シート

事業期間 H20 ～ H22

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農林整備課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）	
基本施策ID	基本施策名
4 - 1 - 2	人が集い、農林業・産品を通じた交流を高める
重点施策ID	重点施策名
- - -	

2. 事業名等	
事業名	中山間地域総合整備事業負担金(大野西部地区)1～3期
事業区分	② ①新規 ②継続 ③その他 ()
細事業名	
事業主体	県
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務
実施期間	平成 16 年度 ～ 平成 33 年度
根拠法規	土地改良法・中山間地域総合整備事業実施要綱
各種の計画への反映 (=根拠計画)	豊後大野市農村振興基本計画
事業ID	19013

3. 事業の内容等									
事業の背景	<p>矢田ダム建設計画中止(H12)に伴い32年間、関係地域の農業振興は全く取り残された状況であり生産基盤・生活環境基盤の整備が急務となっている。過疎対策及び条件不利地域の整備の施策を広域的な連携により解決するため、本事業を旧4町村に跨る地域を対象とし、広域的な観点により営農条件の改善、就業機会の確保、環境保全に配慮した農業の推進、定住条件の整備等、地域活性化のための施策が必要である。</p>								
補助事業	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>国</th> <th>県</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>1/</td> <td>1/</td> <td>1/</td> </tr> </table>	名称	国	県	その他	補助率	1/	1/	1/
名称	国	県	その他						
補助率	1/	1/	1/						
起債の種類	<table border="1"> <tr> <th>①</th> <td>過疎債</td> </tr> <tr> <th>②</th> <td></td> </tr> <tr> <th>③</th> <td></td> </tr> </table>	①	過疎債	②		③			
①	過疎債								
②									
③									
事業の目的及び対象	<p>【目的】 本事業により複数の集落或いは旧町村単位を対象として農業生産基盤と農村生活環境基盤等の整備を一体的に行い、農村の生活環境の改善を図り、環境の保全、定住の促進と併せて地域の活性化を図る。</p> <p>【対象】 清川町・緒方町・朝地町・大野町</p>								
事業概要	<p>平成16～33年度の間、以下の事業を行う。◎農業生産基盤整備■農業用排水施設15地区■農道整備15路線■ほ場整備1地区■暗渠排水2地区◎農村生活環境基盤整備■農業集落道20路線■営農飲雑用水施設1地区■農業集落防災安全施設2地区■用地整備1地区■農村公園1地区■生態系保全施設4地区■地域資源利活用施設1地区 ◎その他財源は、受益者負担額。</p> <p>前年度の評価 評価結果に基づき見直した内容</p> <table border="1"> <tr> <td>E</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> </tr> </table>	E		維持					
E									
維持									

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)							
財源内訳	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予算	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債	30,100	21,200	30,800	44,600	43,800	38,100
	その他	1,588	9,415		1,795	2,547	7,972
	一般財源		1,141	1,675	2,380	2,402	2,078
計	31,688	31,756	32,475	48,775	48,749	48,150	450,355
決算	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債	30,100	23,000	30,800			
	その他	1,588	7,591	1,700			
	一般財源		1,246				
計	31,688	31,837	32,500				

5. 実績及び達成目標等							
過去3年間の事業実績と課題							
平成17年度	平成18年度	平成19年度	課題				
【実績】 31,688千円 農道整備 2路線 農業集落道整備 1路線 農村公園施設整備 1地区	【実績】 31,837千円 農道整備 2路線 農業集落道 2路線	【実績】 14.8% 32,500千円 農道整備 1路線 農業集落道 2路線					
達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値							
活動指標	負担金の交付額						
効率指標	前年度決算額 > 当該年度決算額 ⇒ 平成21年度は、コスト評価（経済性、効率性、効果性）を実施する。						
成果指標	事業進捗率						
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考
種別			事業進捗率	事業進捗率	事業進捗率	事業進捗率	
目標値			14.8	21.7	26.6	37.7	
実績値	4.9	9.6	14.8				
達成率			100.0%				
備考							

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農林整備課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	中山間地域における農業生産基盤及び農村生活環境基盤等の整備のため。				
行政の 関与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	5	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	中山間地域総合整備事業実施要綱に基づき事業を実施しており、市が事業費の一部を負担することが定められているため。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	中山間地域総合整備事業実施要綱に市の負担割合が定められているため。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	年度ごとの整備計画に定められた整備事業が、計画どおり進捗しているため。				
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	本事業は県施行事業に対する事業費の一部を市が負担する事業である。年度ごとの事業内容により、予算の増減があるものの、平成25年度までの総事業費が確定しているため。				
人体 員制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	兼務業務であり、現状の人員以上の削減が困難なため。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	生産基盤・生活環境基盤整備の進展に寄与しているとともに、平成25年度までの事業計画が確定しているため。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
部長	課長	班長	担当者	内線 2414 E-mail @bungo-ohno.jp	